



あかねだい

学校教育目標：自ら進んで、学ぶ、鍛える、共に生きる

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/akanedai/>

学校だより 7月号

令和8年7月17日

横浜市立あかね台中学校



自分らしく

校長 谷崎 遊

あか中に着任してから約4ヶ月。皆さんが、授業・部活動・行事などにしっかりと取り組む様子を日々感心をしています。明日からは39日間の夏休みが始まります。しばらく学校を離れてホッとする反面、実はこの時期、心に疲れが出やすいときでもあります。

友人関係の悩み、進路の不安などで、「疲れたな…」とか、「モヤモヤするな…」とか、そんな思いを抱えている人もいます。「しなければならないことが終わらなかったり」、「人の気持ちや想いに寄り添いすぎたり」、または、「そうありたいけれど、できない自分にイライラしたり」。何かに追われていたり、期待にこたえなければならなかったりすることは多いですね。

「自分らしくいて。君が間違っているなんて、誰にも言えないんだから。」

Be yourself. No one can say you're doing it wrong. “

若い時ほど、可能性に満ちているのですが…、視野が狭く、今を生きるのに精いっぱい、今の悩みが一生続くように思えることがあります。人間関係も、これから先たくさんの人に出会えるのに、今がすべてに感じてしまう…。若い時には、そんな風に自分の世界を狭くしてしまいがちなものです。

上の言葉ですが…、スヌーピーの漫画「Peanuts」の作者 Charles M. Schulz さんのメッセージを引用しましたが、みなさんには「自分らしく」いてほしい。周りの人と比べて落ち込んだり、人からどう思われるかを気にしたりして、心をすり減らさないでほしいと心から願います。学校という場所がすべてではないし、世界はもっと広くて自由な場所です。

もしも夏休み中に悩みが深くなって、どうしても辛くなってしまった時は、どうか一人で抱え込まないでください。あなたの周りには、家族や先生、あなたの SOS を受け止める相談窓口など、助けになりたいと思っている大人がいます。「助けて」と伝えることは、自分を大切にするための一歩です。自分の心と体をリフレッシュできる39日間にしてください。夏休み明けに、皆さんの笑顔に出会えることを楽しみにしています。

【相談窓口】

◆24 時間子供 SOS ダイヤル 0120-0-78310

◆よこはま子ども・若者相談室(LINE)

毎日 14:00～21:00



◆チャイルドライン 0120-99-7777

◆中高生 SNS 相談@かながわ (LINE)

月水金 18:00～21:00



※ よかったら、8月末にもう一度、読んでもらえると嬉しいです。

横浜こども会議（あかね台中ブロック）6/24

「こども会議の報告と感想」

第16代生徒会長

先月、私たち生徒会本部の会長、副会長、書記の三名は横浜こども会議あかね台中ブロックに参加しました。参加者の中には、田奈小、奈良の丘小の6年生たち、そして今年度から新たに各学校のPTAの方々も参加してくださいました。私は、今回が初めて自分が司会進行を担当する会議で、とても不安な気持ちでいっぱいでしたが、各小学校の6年生たちは、私の話を素直に、そして真剣に聞いてくれたので、自信をもって会を進めることができました。今回の会議を通して、私は改めて、こども会議の重要性に気付きました。普段中学生だけで話していたら見過ごしていたかもしれない大切な視点を小学生、そして大人目線であるPTAの方々から得ることができました。

今回の話し合いで得ることができた意見を、今度は私が青葉区役所で行われる区の全体会へ共有し、必ず活かしていきます。会に参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



8・9月の予定

- ◆ 学校再開・学校集会
- ◆ 避難訓練
- ◆ おんちゃんの部屋@恩田地域ケアプラザ
- ◆ 前期期末テスト
- ◆ 3年生英語検定
- ◆ 生徒会役員選挙

学校閉庁期間については、緊急時に限り、
北部学校教育事務所（TEL045-944-5978）に
平日 8:30～17:15 の時間帯にご連絡ください。

青葉区国際平和スピーチコンテスト

7月1日（水）山内地区センターで、青葉区国際平和スピーチコンテストが行われました。青葉区内の中学校12校から代表者が集い、国際平和のために自分たちができることをテーマに3分ほどのスピーチを行いました。

「目の前の誰かから、世界の八十三億人へ」

私には親友がいます。彼女はとてもシャイで、学校で自分からは話しません。でも、私は「おはよう」と声をかけ続けています。たとえ言葉のやりとりはなくても、少し目があって微笑み合う瞬間に、確かな繋がりを感じるのです。言葉をかけることで、私自身も嬉しい気持ちになります。ある日私は、始まったばかりの中学校生活で心身ともにヘトヘトに疲れていました。その日の下校中、花壇に水やりをしている地域のおばあさんに、「おかえり、おつかれさま」と声をかけられました。そう言われた瞬間、心がジワッと温くなるのを感じました。その一言が、疲れ切っていた私の心に普段感じたことのない温かさを届けてくれたのです。相手を思いやる一言は、大きな安心感をくれるのだと知りました。年齢や言葉、文化が違って、言葉がけひとつで心は通い合う。これは、SDGs 目標16の「平和と公正をすべての人に」を、自分たちの手で身近な場所から叶えていく一歩だと思います。私はベースボール5という競技をやっています。ゴムボール1つさえあればどこでも楽しむことができる気軽さから、世界70カ国以上でプレーされています。そのチームの練習に韓国代表の選手が来てくれた時、自分が知っている限りの韓国語でコミュニケーションを取りました。一緒にプレーする中で、言葉がすべてわからなくても、国籍関係なく楽しむことができました。私は将来、日本代表になって、世界中の選手と試合をすることが目標です。たくさんの国の人と言葉を積極的に交わし、励まし合い喜び合い、コミュニケーションを取って、この競技の良さを広めていきたいです。平和を作るのは法律だけではありません。誰かの心を元気づけるたった一言。そんな小さな「心の安全保障」を一人ひとりが築くことだと思います。「目の前の誰かから、世界の八十三億人へ」あたたかい心が届くように、これからも積極的に声をかけ続けたいと思います。